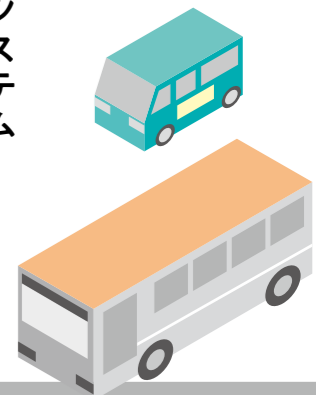


公共交通を

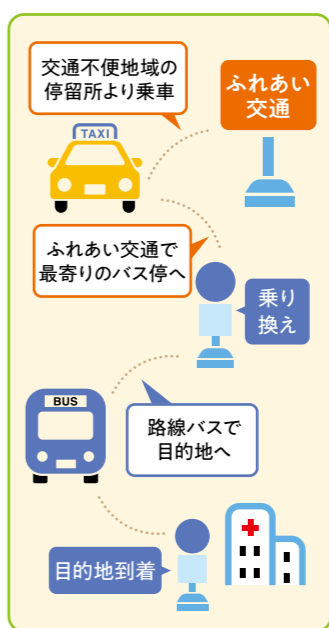
住民による住民のための
交通手段

もっと身近

に！



point 2 ふれあい交通



最寄りの路線バス停留所から500m以上離れている地域が対象です。
※事前に利用登録が必要。

(利用料金)
1回 / 200円

- ・小学生以下
- ・長寿応援バス乗車証所有者 / 100円



ふれあい交通で最寄りのバス停まで！

バスロケーションシステム

point 3 バスどこ大分

停留所に接近するバスの到着予想時間やバスの位置情報をスマートフォンやパソコンの地図上で確認できるバスロケーションシステム「バスどこ大分」。

外国語にも対応し、市民だけでなく国内外の来訪者が路線バスを活用しやすい環境を整備しました。

併せてJR大分駅北口駅前広場に大画面の「デジタルサイネージ」を設置。JR大分駅前を発車する全てのバス乗り場や接近情報、運休・迂回等の運行に関する情報を案内しています。

JR大分駅北口駅前広場に設置されたデジタルサイネージ。大画面で表示され、見やすくなっています。



詳しくはこちらから▶

バス停までが遠くて不便……。そんな悩みを解消してくれる交通手段が「ふれあい交通」です。公共交通機関の利用が不便な地域から、最寄りの路線バスのバス停までを乗り合いタクシーで結び、買い物や通院、お出掛けなど日常生活における身近な移動手段として、現在市内26ルートで運行しており、8月初旬から3ルート追加され、29ルートで運行予定です。ルートについては、自治会から要望を受けた後、経路や運

行時刻などの運行計画を、住民と市の話し合いで策定します。実際に利用する住民自らが、計画の策定や見直しに参画する仕組みを確立しているとして、平成30年には地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰を受けました。まさに、住民による住民のための公共交通と言えるでしょう。高齢者や自家用車を利用しない人たちの移動手段として利用されています。

無料Wi-Fiが利用できます。



まちなかを走る大分きゃんバス。カラフルな車両はひと際目を引きます。

point 4 まちなかと美術館など各所を結ぶ 中心市街地循環バス 大分きゃんバス

車内も水戸岡鋭治氏の世界が広がっています。



午前8時～午後5時45分まで30分間隔で運行。(土・日曜日、祝日は午前9時45分～) 専用の停留所から乗車してください。

(利用料金)
大人(中学生以上) / 100円
小人(小学生以下) / 50円

まちなかを走るおしゃれな「大分きゃんバス」。クルーズトレイン「ななつ星in九州」や大分駅ビル「JRおおいたシティ」などを手掛けた工業デザイナー・水戸岡鋭治氏によるデザインで、JR大分駅から市中心部を通り、県立美術館、市美術館などを経由して循環運行しています。ワンコイン100円で乗ることができ、自家用車を使わなくても、美術館巡りや商店街での買い物など、まちなかを回遊するのにとても便利。スロープやリフトを設置しているので、誰もが利用しやすい車両です。5月から停留所付近の施設や市の文化・歴史・産業などを紹介する車内放送も始まり、市の魅力発信に一役買っています。1日乗り放題の乗車券もあります。



平成31年3月にバリアフリー化されたJR鶴崎駅。エレベーターが設置され、利用しやすい駅になりました。



ホームにも点状ブロックが設置されています。

Comfortable station

point 5 高齢者から障がい者まで みんなに優しい駅を目指して 鉄道駅バリアフリー化

幅広い世代の人々が利用している鉄道駅。JRによりエレベーターや多目的トイレ、点状ブロック、スロープ、案内看板などが設置され、高齢者や障がい者を含むすべての人に優しい駅を目指した整備が進められています。市内では平成31年3月にJR鶴崎駅において、利用者のさまざまな意見を取り入れ、より利用しやすくなるように、バリアフリー化されました。また現在は、高城駅、大在駅でバリアフリー化が進められています。

